

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公表番号】特表 2019-513553 (P2019-513553A)

【公表日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2018-554683 (P2018-554683)

【国際特許分類】

**B 0 1 D 53/14 (2006.01)**

【F I】

B 0 1 D 53/14 2 1 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 30 日 (2021.7.30)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体流から酸性ガスを除去するための吸収剤の製造用の予備混合物であって、

a) ビス(2-ヒドロキシエチル)メチルアミン(メチルジエタノールアミン、MDEA)、トリブタノールアミン、2-ジエチルアミノエタノール(ジエチルエタノールアミン、DEEA)、2-ジメチルアミノエタノール(ジメチルエタノールアミン、DMEA)、3-ジメチルアミノ-1-プロパノール(N,N-ジメチルプロパノールアミン)、3-ジエチルアミノ-1-プロパノール、2-ジイソプロピルアミノエタノール(DIEA)及びN,N-ビス(2-ヒドロキシプロピル)メチルアミン(メチルジイソプロパノールアミン、MDIPA)から選ばれる少なくとも 1 種の第三級アミン及び/又は立体障害のある第二級アミン；

b) a) 中のプロトン化可能な窒素原子に基づいた中和当量として計算して、少なくとも 30% の量のジカルボン酸であって、20 の温度での水への溶解度が水 100 g 当たりジカルボン酸 15 g 以下である前記ジカルボン酸；並びに

c) 20 ~ 80 質量% の水

を含む予備混合物。

【請求項 2】

前記 b) の量が、a) 中のプロトン化可能な窒素原子に基づいた中和当量として計算して 30% ~ 400% である、請求項 1 に記載の予備混合物。

【請求項 3】

前記第三級アミンがアルカノールアミンである、請求項 1 又は 2 に記載の予備混合物。

【請求項 4】

アミン a) が、立体障害のある第二級アミンである、請求項 1 又は 2 に記載の予備混合物。

【請求項 5】

前記立体障害のある第二級アミンがアルカノールアミノエーテルである、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の予備混合物。

【請求項 6】

前記ジカルボン酸 b) がコハク酸及びアジピン酸から選択される、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の予備混合物。

**【請求項 7】**

所定の予備混合物をアミン及び任意に水と混合することを含む流体流から酸性ガスを除去するための吸収剤を製造する方法であって、

前記所定の予備混合物は、

a) 少なくとも第三級アミン及び / 又は立体障害のある第二級アミン；

b) a) 中のプロトン化可能な窒素原子に基づいた中和当量として計算して、少なくとも 30 % の量のジカルボン酸であって、20 の温度での水への溶解度が水 100 g 当たりジカルボン酸 15 g 以下である前記ジカルボン酸；並びに

c) 20 ~ 80 質量 % の水

を含むものであり、

前記予備混合物中の前記ジカルボン酸の量が前記アミンのプロトン化可能な窒素原子に基づいた中和当量として計算して前記吸収剤中よりも多い吸収剤の製造方法。

**【請求項 8】**

前記ジカルボン酸が、コハク酸及びアジピン酸から選択される、請求項 7 に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記予備混合物が、請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の予備混合物である、請求項 7 又は 8 に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記吸収剤が前記ジカルボン酸を、前記アミンのプロトン化可能な窒素原子に基づいた中和当量として計算して、0.5 % ~ 15 % の量で含む請求項 7 ~ 9 の何れか 1 項に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記吸収剤が、立体障害のない第一級アミン及び立体障害のない第二級アミンを含まない請求項 7 ~ 10 の何れか 1 項に記載の方法。

**【誤訳訂正 2】**

**【訂正対象書類名】**明細書

**【訂正対象項目名】**0007

**【訂正方法】**変更

**【訂正の内容】**

**【0007】**

コハク酸又はアジピン酸などのジカルボン酸が、水性アミン吸収剤の再生を同様に促進できることが、今や見出された。例えば鉍酸又はギ酸などの低級有機酸を含む吸収剤と比較して、ジカルボン酸を含む吸収剤は、低減されたメチルジエタノールアミン (MDEA) などのアミンの分解を示す。